

令和4年度 印西市家庭教育学級だより

かてきょう通信

「子育ては、自分育て」 ～家庭と地域の絆のために～

6月号

始まりました！家庭教育学級★



6月に入り、園や学校での生活も、軌道に乗ってきたところでしょうか。運営委員の皆さんには、家庭教育学級の年間学習計画の作成をしていただき、ありがとうございました。年間の学習内容について、日時・場所など、予定を立てていただきました。お忙しい中、役員同士で話し合ったり、教頭先生に相談したり、また講師への連絡をしたりと、大変だったかと思います。



早速、開級式が始まった学校もあります。役員を紹介、校長先生や教頭先生からのお話などを取り入れ、顔合わせをし、第1回の講座を開催しているところが多いようです。もちろん、感染症予防対策をしっかりとっていただいていることだと思います。今後ともよろしく願いいたします。

役員以外の皆さん、ご自分のお子さんの園や学校の家庭教育学級からの連絡があったら、どうぞ、ご参加をお願いいたします。学校の事、子育てのことなどのいろいろな情報を得る場を見つけられ、保護者同士の繋がりを育むことができると思います。

でも、平日の勤務をされている保護者の方も多いので、参加できない方もいるかと思いますが、いいんです。まずは、できる範囲でも、やってみることが大切なのです。

ここで、「**子育ての四訓**」をご紹介します。

- 第一に、乳児は、しっかり 肌を離すな。
- 第二に、幼児は、肌を離せ。手を離すな。
- 第三に、少年は、手を離せ。目を離すな。
- 第四に、青年は、目を離せ。心を離すな。

この「子育ての四訓」は、長年、教育に携わった方の言葉として伝えられているものです。子どもの成長と共に、離すべきものと離してはいけないものがあるのですね。

子育ての極意であると同時に、親の愛情の姿でもある言葉ではないでしょうか。お子さんへの関わり方を振り返ってみる時の参考にしてみてください。

◇お問い合わせ◇

印西市教育委員会 教育部生涯学習課 推進係(担当 嶋・海老原)

【電話】0476-33-4713 【FAX】0476-42-0033



子育ては自分育て

★「かてきょう通信」は、印西市ホームページでもご覧いただけます。
印西市ホームページにて「かてきょう通信」と検索してください。